

平成 27 年度 事業報告

平成 27 年度は、平成 23 年度から続けてきた中期 5 ヶ年計画の最後の年ともなり、5 年間の事業の総括を行うとともに、次の 5 ヶ年計画と 50 周年に向けた準備の年となった。

公益目的事業 1 豊かな人間性を涵養するボランティア理解と普及に関する事業

(1) 研修事業

① ボランティアカフェ

ボランティアの研修・スキルアップを目的に、ボランティア実践者を囲み、コーヒ一片手に気軽に語り合う会を、年 6 回開催いたしました。

- | | |
|----------------------------------|-----------|
| ・ 4 月 18 日(土) 「インドについて」 | 参加者数：14 名 |
| ・ 4 月 25 日(土) 「高校生ボランティアの可能性」 | 参加者数：33 名 |
| ・ 6 月 6 日(日) 「緑の大地を目指して」 | 参加者数：25 名 |
| ・ 11 月 15 日(日) 「トルコについて」 | 参加者数：13 名 |
| ・ 2 月 28 日(日) 「ベルギーについて」 | 参加者数：18 名 |
| ・ 3 月 19 日(土) 「カンボジアの子どもたちと生活の水」 | 参加者数：8 名 |

② はじめの会

新年度のスタートにあたり、あすての理念や目的を登録者と再確認し、1 年間のあすての事業を共有する場として開催いたしました。

- ・ 開催日：4 月 4 日(土) 参加者数：150 名

③ あすての日

あすて設立記念日に、あすて登録者が一堂に会し、あすてをより深く理解していただくとともに、交流を深める場として開催いたしました。

- ・ 開催日：12 月 11 日(木) 参加者数：64 名

(2) 広報事業

① 広報

あすての情報を内外に発信することを目的に、あすてのホームページを自前で作成し運営しました。また、館内掲示を充実させ、他団体の事業にも積極的に PR ブースを出展したほか、リーフレットの作成、隔月で通信「むすび」を発行し、あすての事業の PR につとめました。

② 記録

あすての日々の活動を写真・ビデオなどで記録し、ホームページ上で発信したほか、あすての PR 資料作成などに活用いたしました。

公益目的事業2 地域の健全な発展のために活動するボランティアグループに対する支援に関する事業

(1) ものづくり事業

①森のプレゼント

協賛による製作・寄贈実績は以下の通り。

①豊田市環境学習施設・エコットへ大型プランター10個(協賛：エコットフェスタ来場者)

②刈谷市内保育園へ積み木100セット(協賛：アイシン精機)

③東浦町内保育園・公共施設へベンチ12脚(協賛：豊田自動織機)

④大府・刈谷市内福祉施設へベンチ10脚(協賛：アイシングループ50周年記念)

その他、ポットラックガーデン看板をはじめとしたあすて施設内設備の補修・製作活動、活動PRとしてオールトヨタビッグホリデーへの出展、とよたまちさとミライ塾プログラム「丸太丸ごものづくりDAY」での講師、活動資金への賛助を目的としたチャリティージャズコンサート「再燃!jazzy night」の企画・運営も行いました。

②ジオラマ

鉄道ジオラマの整備をものづくりボランティアが主体となって行い、地域の方々に開放し運転体験などを行っていただきました。

(2) 環境事業

①あすて地球緑化プロジェクト「砂漠化防止のための中国植林活動」

日本人と中国人のボランティアが協力して中国内モンゴル自治区の砂漠化を防止し、地球環境のことについて、ともに汗を流しながら考える機会とすることを目的に、アイシングループの協力のもと、4月24日(金)～28日(火)の日程で、中国内モンゴル自治区シリンゴル盟シリンホト市近郊の砂漠地帯にて3回目の現地活動を実施し、2万平米の土地に2万本の黄柳、2.5万本の楊紫、500本の障子松を植林しました。また、植林活動へのチャリティーを目的に、10月18日(日)にアイシン精機課長会、アドヴィックス課長会、アイシン高丘部課長会と合同でチャリティーウォークを、11月15日(日)にはチャリティーコンサートを開催しました。

・現地植林活動参加者数：あすて一般公募13名、アイシン国内グループ17名、
アイシングループ中国現地法人52名 その他3名 計85名

・チャリティーウォーク参加者数：24チーム102名 ボランティア38名

・チャリティーコンサート「中国雑技と音楽のつどい」参加者数：408名 ボランティア30名

②地域資源活用

グループが主体となって竹藪の間伐と間伐竹を利用した竹炭・竹製品の製作活動を行いました。

③美化活動

あすて施設内の清掃活動、樹木の剪定、花壇の整備、季節の飾り付け等のボランティア活動をグループとともに進めました。

(3) 福祉事業

①慰問

グループが主体となって、福祉施設等での慰問活動(太鼓演奏や民族舞踊等)を年52回程度行いました。

②あすてチャリティー10日市

手作り品を販売し、収益を社会貢献活動に役立てることで売り手と買い手双方が気軽に社会貢献に参加できる場として毎月10日にあすてチャリティー10日市を開催しました。

売上総額：1,695,322円 収益寄付総額：638,024円(中国植林、東北支援、チャレンジアジア、UNHCRほかに寄付) 出店総数(延べ)：155 参加者総数(延べ)：1,509名

③募金・収集ボランティア

あすて利用者の協力により、年間を通してベルマークなどの収集活動を行い、オイスカなどに寄付いたしました。

- ・ベルマーク 9417.7点(寄付先：オイスカ)
- ・外国紙幣・コイン 32枚 412個(寄付先：日本ユニセフ協会)
- ・書き損じはがき 405枚(寄付先：ユネスコ世界寺子屋運動)
- ・未使用タオル 101枚(寄付先：こどもの里)
- ・使用済み切手 段ボール1箱(寄付先：日本キリスト教海外医療協力会)
- ・未使用文具 ノート40冊、鉛筆22本、消しゴム37個ほか(寄付先：こどもの里)

また、グループが主体となって、東日本大震災への支援を目的としたチャリティーコンサートを行いました。

- ・開催日：10月27日(火) 参加者数：105名 寄付額：67,455円(寄付先：カタリバコラボスクール)

その他、利用者が不用品等を持ち寄り、あすて内で販売しその収益を難民支援団体などに寄付するミニバザー、ボランティアによる利用者へのランチとコーヒーの提供を通し、収益を国際協力団体などに寄付するらんち&カフェを行いました。

- ・ミニバザー収益寄付総額：449,961円
 - ・らんち&カフェ収益寄付総額：110,000円
- 開催回数：らんち148回 4557食、カフェ113回 1539杯

(4) グループ支援事業

①活動施設の提供

グループが日々の活動を円滑に、また活発にできるよう、活動場所の調整、登録、ボランティア保険への加入などを行いました。

登録グループ数：51 登録者数：779名

②グループに対する相談対応・指導

グループが日々の活動を円滑に、また活発にできるよう、相談対応・アドバイスをしました。

公益目的事業3 多文化共生を推進し、国際相互理解を図るための国際交流・国際協力及び外国人支援に関する事業

(1) 国際交流事業

① スポーツ・文化を通じた国際交流

グループが主体となって、バドミントンなどのスポーツ活動、陶芸などの文化活動を通じた国際交流活動を進めました。

(2) 国際協力事業

① チャレンジアジア

青少年の国際協力とグローバルな視点を持った人材の育成を目的に、幼い難民を考える会の協力のもと、カンボジアプノンペン近郊の保育所にて設備修繕、物資支援、交流などのボランティア活動を行いました。また、8年間の活動の総括と今後の活動のあり方を探るため、過去の支援保育所への訪問、生活用水の調査なども行いました。

- ・現地活動：12月26日（土）～31日（木）
- ・参加者数：5名(過去の参加者から選抜)

② 難民支援活動

世界の難民の現状を理解し、支援につなげることを目的に、グループが主体となって、難民の気持ちを体験するワークショップ「いのちの持ち物けんさ」を行いました。また、あわせてチャリティーカフェ、チャリティーバザーも開催し、収益を難民支援団体に寄付しました。

- ・開催日：6月27日(土) 参加者数：16名 寄付総額：28,418円(寄付先：UNHCR、幼い難民を考える会)

(3) 多文化共生事業

① たのしいにほんご

とよた日本語学習支援システムによる日本語学習の第16期～18期を実施し(各期12回)、3期を通して日本人パートナー延べ158名と外国人受講者延べ173名が、会話を主体とした日本語の習得に励みました。

公益目的事業4 地域の健全な発展を図るために必要な担い手づくり及び児童・青少年の育成に関する事業

(1) 青少年支援事業

①クルマづくり究めるプロジェクト

クルマづくりを通して青少年の健全育成とものづくりに主体的に挑戦する人材の育成を目的に、豊田市と共催で実施。「入門」「研究」「挑戦」の3つのコースを設け、土曜日を中心に年30回程度実施しました。

・参加者数：3コース計112名 指導員ボランティア数：218名

②青年による企画の受入れ

豊田市の若手男性保育師が主体となって、父親の子育てを支援するイベント「パパレンジャー」を年5回開催しました。

・参加者数(延べ)：127組

③青少年に対する相談対応・指導

あすてを利用する青少年に対し、相談対応、助言等を行いました。

その他事業

①企業研修の受け入れ

賛助企業の研修に対し、会議室などの場所及びボランティア研修メニューの提供などを行いました。

②他団体との共働・協力・共催

1月24日(日)に、「社会人のための地域参加促進セミナー」を、豊田市社会福祉協議会、とよた市民活動センター、トヨタ自動車労働組合と共催して実施しました。その他、関係団体の事業へのPRブースの出展、備品の貸与、実行委員会議への出席などを年間を通して行いました。